

ユーシン

景況レポート

Number.108
(2021.4~6月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業227企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです

調査結果の
あらまし

概況(4月▶6月期)

業況は、製造業を除く業種で低下

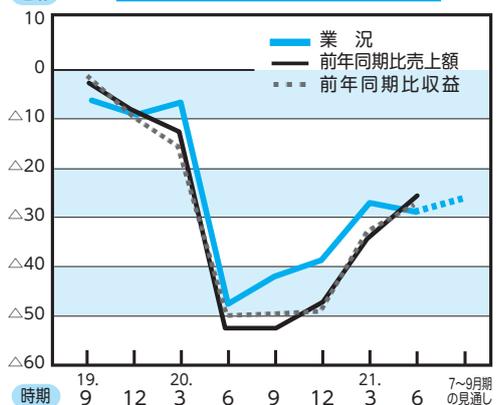
茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△29.1と、2021年1~3月期(前期)の調査より1.8%低下し、景況感は悪化しました。

業種別では、卸売業で前期比14.9%、小売業で同比4.9%、サービス業で同比6.5%、建設業で同比11.3%、不動産業で同比11.1%低下しましたが、製造業で同比15.0%改善しました。

項目別では、売上額判断D.Iが△20.7と前期比5.7%、収益判断D.Iが△23.8と同比2.2%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△26.4、前期比8.2%、同収益判断D.Iが△28.6、同比4.7%ともに改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△7.5と前期比2.0%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比1.6%低下しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比5.2%低下しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が39.6%、「同業者間の競争激化」が27.3%、「利幅の縮小」が20.3%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか」の質問に対し、「やや危機を感じている」との回答が55.1%と最も多く、業歴では「10年以上30年未満」との回答が38.8%と最も多い結果となりました。

D.I 全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

業況の見通し判断D.IIは△26.9、当期実績比2.2%改善の見込

来期は、製造業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比0.9%低下、収益判断D.Iでは同比0.5%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比3.0%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比2.2%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」・「経費の節減」がそれぞれ43.6%、「人材を確保する」が20.3%と上位に挙げられました。

景況天気図

〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

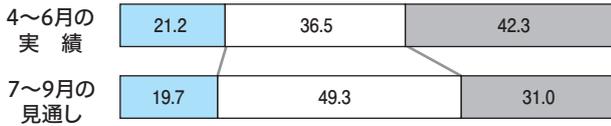
業種名	時期	3年1月~3月	3年4月~6月	3年7月~9月 見通し	概要	要点
総合		☁️	☁️	☁️	業況判断D.IIは、1.8%低下し△29.1。来期は、2.2%改善し△26.9の見通し。	
製造業		☔️	☁️	☁️	業況判断D.IIは、15.0%改善し△21.1。来期は、9.8%改善し△11.3の見通し。	
卸売業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.IIは、14.9%低下し△45.2。来期は、横ばいで△45.2の見通し。	
小売業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.IIは、4.9%低下し△43.9。来期は、横ばいで△43.9の見通し。	
サービス業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.IIは、6.5%低下し△35.5。来期は、横ばいで△35.5の見通し。	
建設業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.IIは、11.3%低下し△5.7。来期は、5.7%低下し△11.4の見通し。	
不動産業		☁️	☔️	☔️	業況判断D.IIは、11.1%低下し△33.3。来期は、横ばいで△33.3の見通し。	

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☔️ ☔️ → 低調 / ☔️ 業況改善 ☁️ 業況悪化 → 業況変化なし

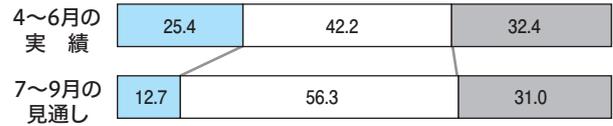
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

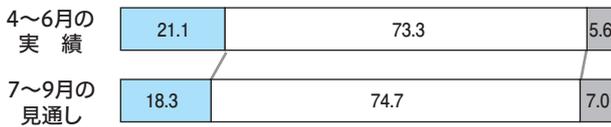
【業況】



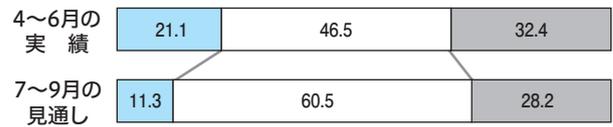
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△21.1、前期比15.0%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△7.0と前期比27.7%、収益判断D.Iが△11.3と同比22.0%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△26.8、前期比10.7%、同収益判断D.Iが△28.2、同比9.3%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△5.6と前期比2.7%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△11.3と前期比8.1%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が21.1%（前期34.7%）、「予定あり」が9.9%（同12.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は7.0%（前期15.3%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が40.8%、「利幅の縮小」が29.6%、「人手不足」が25.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

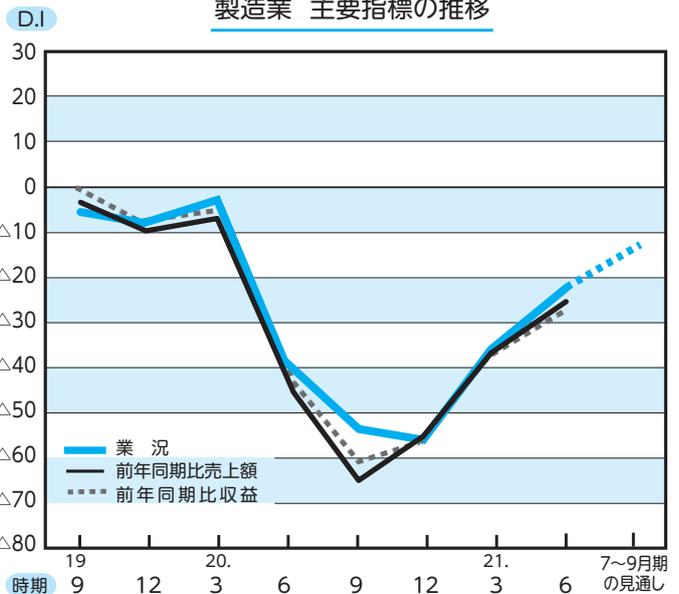
業況の見通し判断D.Iは△11.3、当期実績比9.8%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.3%、収益判断D.Iが同比5.6%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.2%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が53.5%、「経費の節減」が38.0%、「人材を確保する」が29.6%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



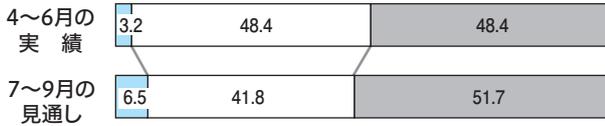
調査員のコメントから

新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない状況ではあるが、受注は回復傾向にある。従業員の勤務体制の見直し等、経費削減に努め資金繰りの円滑化を図っている。

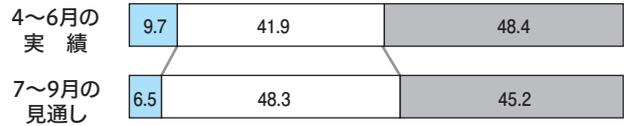
■ 卸 売 業

回答企業数31企業(回答率93.9%)

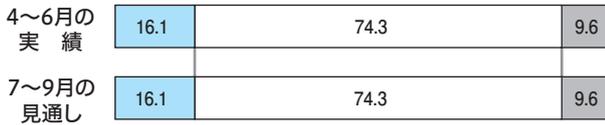
【業 況】



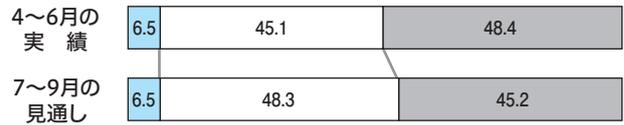
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△45.2、前期比14.9%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△38.7と前期比5.4%、収益判断D.Iが△41.9と同比11.6%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△35.5、前期比17.3%、同収益判断D.Iが△41.9、同比17.7%ともに低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.1%（前期27.3%）、「予定あり」が6.5%（同6.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期9.1%）となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.5と前期比0.4%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△19.4と前期比10.3%低下しました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が61.3%、「同業者間の競争激化」が22.6%、「取引先の減少」が16.1%と上位に挙げられました。

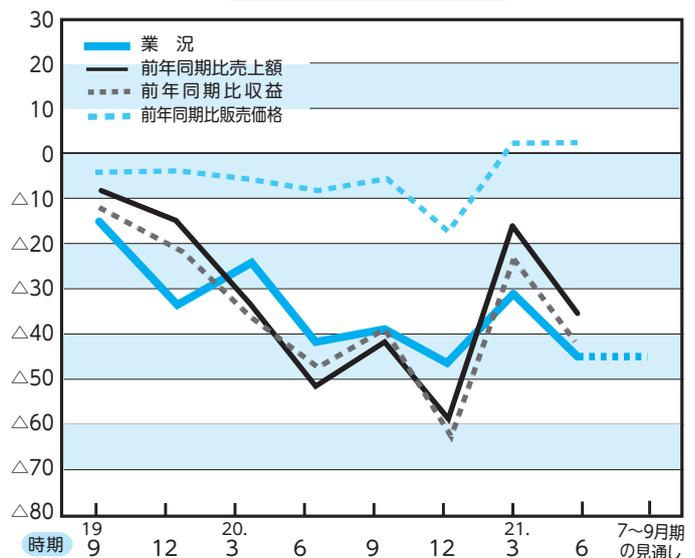
3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

業況の見通し判断D.Iは△45.2、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比3.2%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比横ばいを見込んでいます。

D.I 卸売業 主要指標の推移



雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比3.3%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が61.3%、「経費の節減」が45.2%、「情報力の強化」が25.8%と上位に挙げられました。

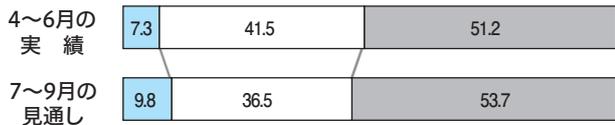
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響に加え、小売業の業況低迷もあり、売上減少となっている。在庫を多く抱えており、超過状態が長期化している。

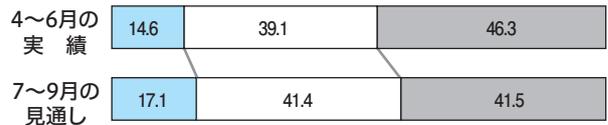
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

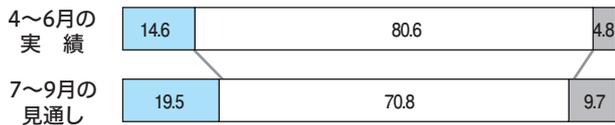
【業 況】



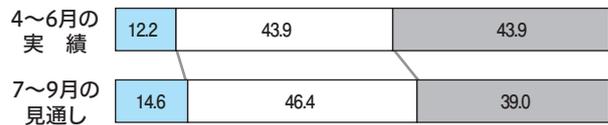
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△43.9、前期比4.9%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△31.7と前期比7.3%、収益判断D.Iが△31.7と同比7.3%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△39.0、前期比7.3%改善、同収益判断D.Iが△36.6、同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△4.9と前期比2.4%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△14.6と前期比2.4%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が24.4%（前期24.4%）、「予定あり」が7.3%（同9.8%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は4.9%（前期4.9%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が34.1%、「同業者間の競争激化」が31.7%、「大型店との競争激化」が26.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

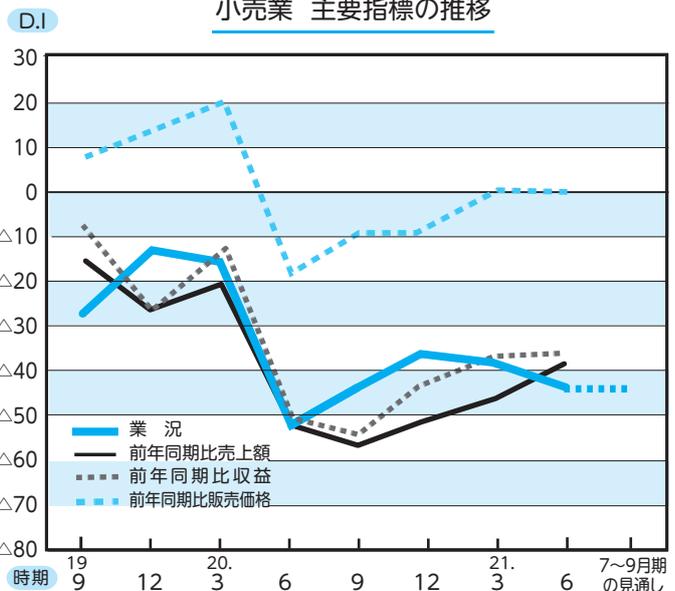
業況の見通し判断D.Iは△43.9、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比7.3%、収益判断D.Iが同比7.3%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比7.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比2.4%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が48.8%、「品揃えを改善する」が31.7%、「売れ筋商品の取扱」が22.0%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



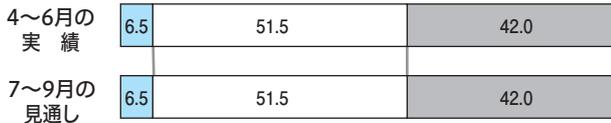
調査員のコメントから

新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛や、ガソリン価格の高止まり等が、売上へ影響している。

■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

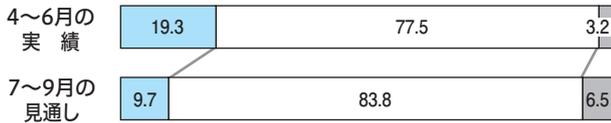
【業況】



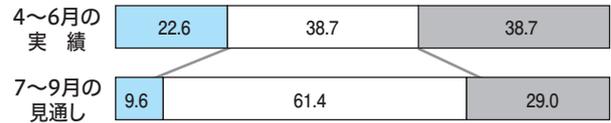
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△35.5、前期比6.5%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△16.1と前期比12.9%、収益判断D.Iが△16.1と同比12.9%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△9.7、前期比38.7%、同収益判断D.Iが△19.4、同比22.5%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが0.0と前期比3.2%改善し、人手不足感が緩和されました。また、前期比残業時間D.Iは△22.6と前期比3.2%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%（前期22.6%）、「予定あり」が3.2%（同6.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.7%（前期16.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41.9%、「同業者間の競争激化」が35.5%、「利幅の縮小」が19.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(7月▶9月期)

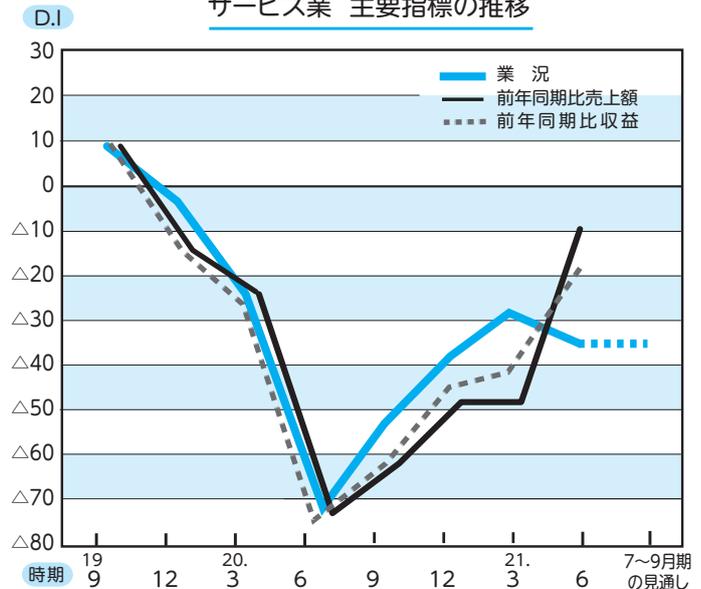
業況の見通し判断D.Iは△35.5、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比3.3%低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比12.9%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比9.7%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が61.3%、「経費の節減」が45.2%、「宣伝・広告の強化」が19.4%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



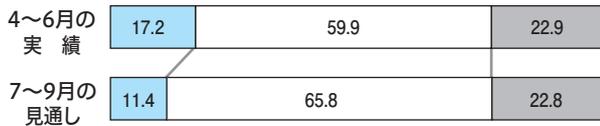
調査員のコメントから

新型コロナウイルス感染防止対策として、来店客を予約制にするなどの取組みを継続中。少しずつ常連客の予約が入ってきているものの、業況厳しく先行きに不安を感じている。

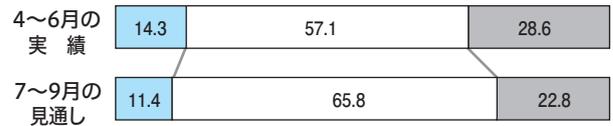
■ 建設業

回答企業35企業(回答率97.2%)

【業況】



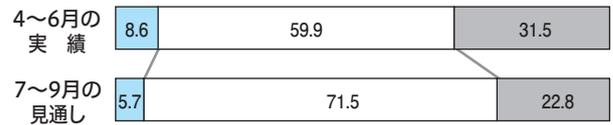
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△5.7、前期比11.3%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△14.3と前期比8.7%、受注残判断D.Iが△17.1と同比8.8%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△20.0、前期比5.0%、同収益判断D.Iが△20.0、同比10.6%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△14.3と前期比5.1%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△11.4と前期比5.8%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が34.3%(前期27.8%)、「予定あり」が25.7%(同16.7%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は14.3%(前期13.9%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が37.1%、「同業者間の競争激化」が34.3%、「売上の停滞・減少」が28.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(7月▶9月期)

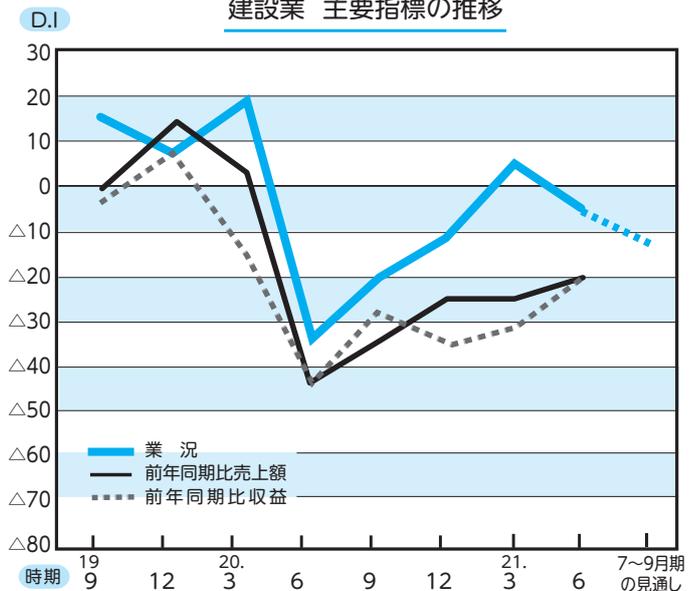
業況の見通し判断D.Iは△11.4、当期実績比5.7%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.9%、収益判断D.Iが同比5.8%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比5.7%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.4%、「販路を広げる」が42.9%、「人材を確保する」が37.1%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響は依然としてあるが、公共工事含め受注状況は回復傾向にある。しかし、材料価額の急激な上昇により収益が減少している。

■ 不動産業 回答企業数18企業(回答率100%)

【業 況】

4～6月の実績	5.6	55.5	38.9
7～9月の見通し	5.6	55.5	38.9

【売上額】

4～6月の実績	5.6	49.9	44.5
7～9月の見通し	0.0	72.2	27.8

【仕入価格】

4～6月の実績	0.0	77.8	22.2
7～9月の見通し	0.0	83.3	16.7

【収 益】

4～6月の実績	5.6	49.9	44.5
7～9月の見通し	0.0	61.1	38.9

増加・やや増加 (良い・やや良い)
 変わらず(変化無し)
 やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図 **概況(4月▶6月期)**



業況判断D.Iは△33.3、前期比11.1%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△38.9と前期比16.7%、収益判断D.Iが△38.9と同比11.1%ともに低下となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△22.2、前期比横ばい、同収益判断D.Iが△22.2、同比5.5%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が33.3%（前期33.3%）、「予定あり」が27.8%（同16.7%）を示しています。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「大手企業との競争激化」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ27.8%と上位に挙げられました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比5.5%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△27.8と前期比11.1%低下しました。

3ヶ月予報 **見通し(7月▶9月期)**



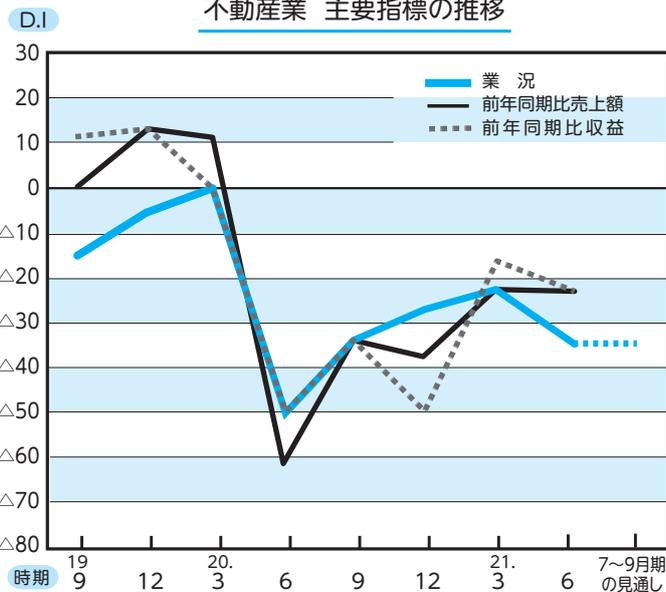
業況の見通し判断D.Iは△33.3、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.1%改善、収益判断D.Iが同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比11.1%改善見通しとなっています。

当面の重点施策では、「宣伝・広告の強化」が55.6%、「販路を広げる」が44.4%、「情報力の強化」が38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響により入居者が退去したこともあり、資金繰りが厳しい。また、自社経営する駐車場契約やアパート契約の解約が目立っている。

特別
調査

中小企業の事業継続について

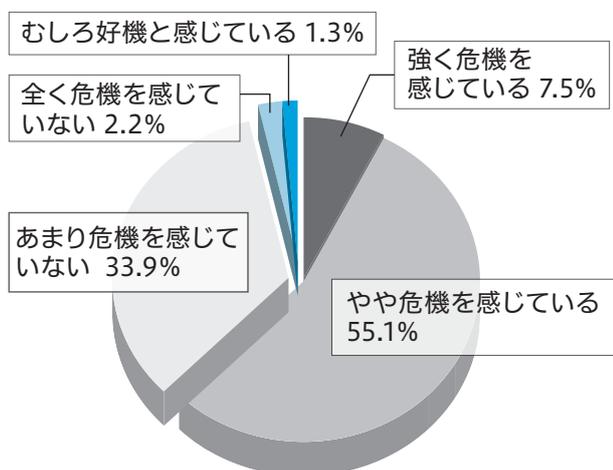
「中小企業の事業継続」について調査を実施しました。

「現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか」の質問に対し、「やや危機を感じている」との回答が55.1%と最も多く、業歴では「10年以上30年未満」との回答が38.8%と最も多い結果となりました。

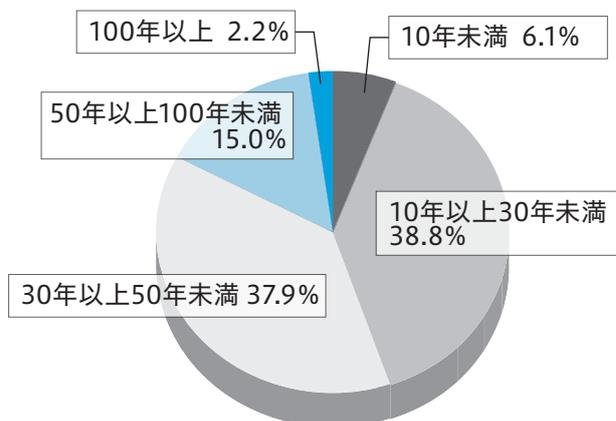
そのほか、「事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視していますか」を、次のように取り纏めました。

問1 貴社は、現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか。

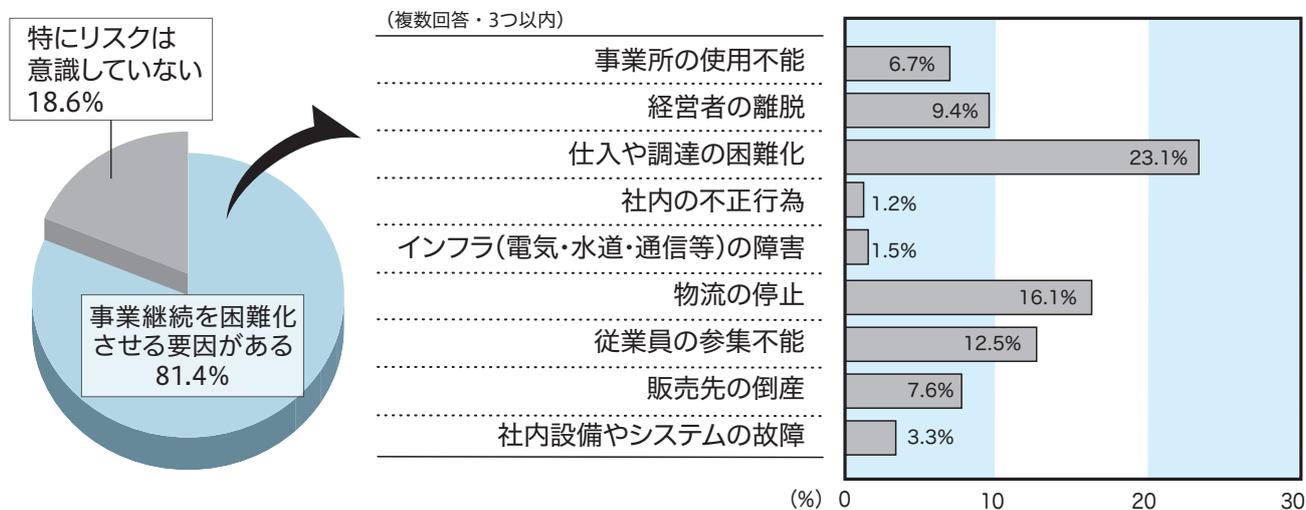
【事業継続】



【業歴】

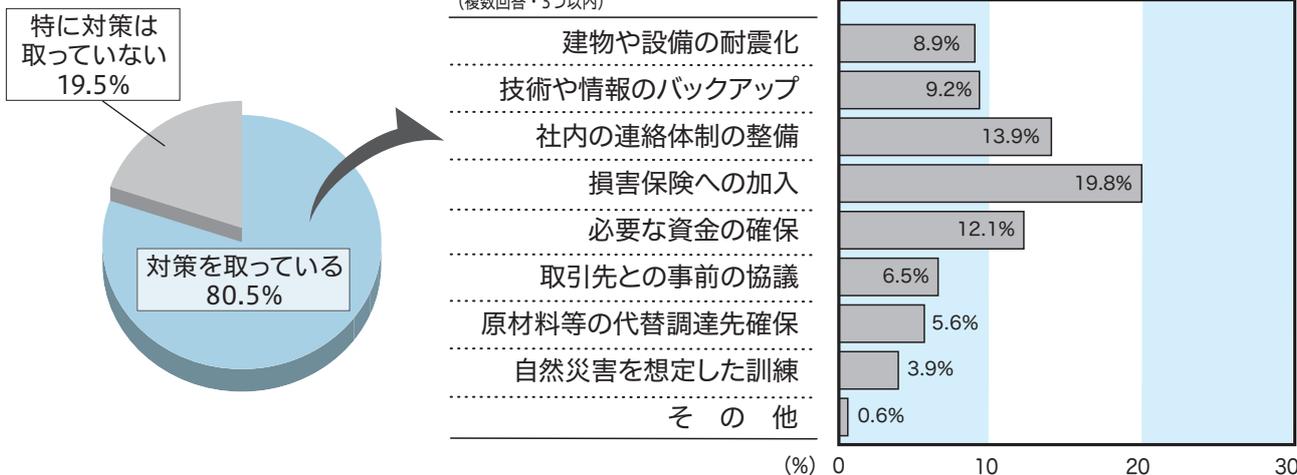


問2 貴社では、事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視していますか。



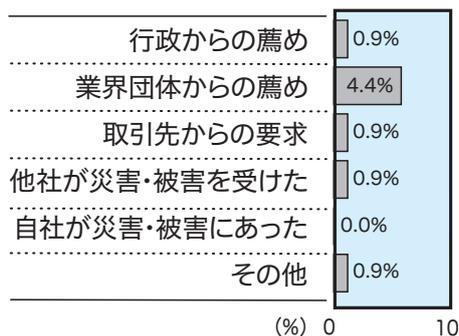
問3 貴社では、災害に備え、どのような対策を取っていますか。

【対策の内容】

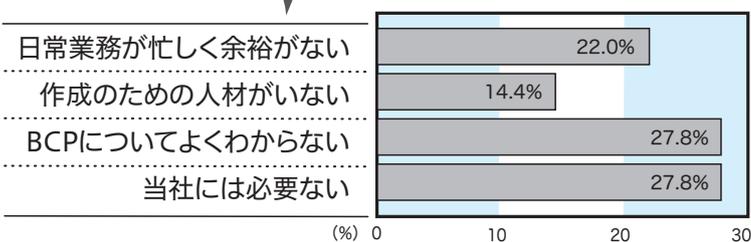


問4 感染症や災害などの緊急時における業務の早期復旧のために、「事業継続計画 (BCP)」の作成が有効とされています。貴社は事業継続計画 (BCP) を作成 (予定を含む) していますか。

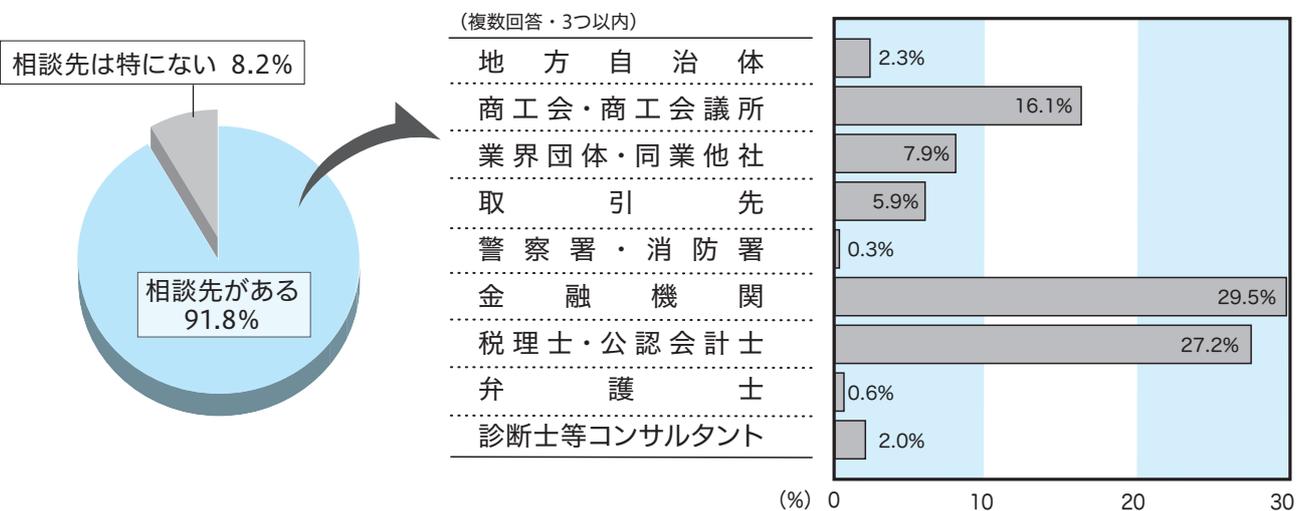
【BCPを作成(予定)のきっかけ】



【BCPを作成していない理由】



問5 貴社では、事業継続にあたって、常日頃から頼りにしている相談先はありますか。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。



下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50%
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 **500**万円以内
ご利用期間 **10**年以内

ブライダルローン

ご融資金額 **500**万円以内
ご利用期間 **10**年以内

カーライフプラン

ご融資金額 **500**万円以内
ご利用期間 **10**年以内

教育プラン

ご融資金額 **500**万円以内(*1)
ご利用期間 **10**年以内(*2)

子育て応援プラン

ご融資金額 **100**万円以内
ご利用期間 **10**年以内

リフォームプラン

ご融資金額 **1,000**万円以内
ご利用期間 **15**年以内

(*1) 6年制大学の場合は1,000万円以内
(*2) 6年制大学の場合は16年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。
また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。



結城信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296) 32-2110 FAX (0296) 33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>